

平成 21 年 7 月 21 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 21 年 7 月 21 日 (月曜日)
午後 4 時から午後 5 時 15 分まで

2 場 所 長岡市教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信
委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	野口 正巳	教育総務課長	押見 康雄
学務課長	武樋 正隆	学校教育課長	腮尾 理
子ども家庭課長	矢沢 康子	保育課長	若月 和浩
中央公民館長	葦沢 豊	中央図書館長	小野田 信子
科学博物館	山屋 茂人	教育センター所長	山岸 文夫
学校教育課主幹管理主事	星野 和人	学校教育課主幹管理主事	島倉 昭宏

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長	新沢 達史	教育総務課庶務係	小川 瑞穂
保育課	金山 由美子		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 38 号	平成 22 年度使用教科用図書採択について
3	第 39 号	長岡市馬高縄文館条例施行規則の制定について
4	第 40 号	長岡市地域資料館条例施行規則の一部改正について
5	第 41 号	長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について
6	第 42 号	専決処理について（補正予算の要求について）

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会 7 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、内藤委員及び中村委員を指名する。

日程第 2 議案第 38 号 平成 22 年度使用教科用図書採択について

（大橋委員長） 日程第 2 議案第 38 号 平成 22 年度使用教科用図書採択について を議題とする。

（加藤教育長） 公表前であるので、秘密会が適当ではないか。

（大橋委員長） 加藤委員から秘密会が適当であると発言があったが、他の委員はいかがか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

（大橋委員長） 異議がないので、秘密会とする。関係者以外の退席を求める。

————— 会議規則第 43 条の規定により記録中止 —————

日程第3 議案第39号 長岡市馬高縄文館条例施行規則の制定について

(大橋委員長) 日程第3 議案第39号 長岡市馬高縄文館条例施行規則の制定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 9月19日のオープンに向け建設を進めている長岡市馬高縄文館の施設の管理運営についての規則を制定するものである。開館時間、休館日、資料の取り扱い等について定めるものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) ここに火焰土器を展示するが、それはレプリカか、それとも本物か。

(山屋科学博物館長) 基本的には、一部博物館が所有していないものについては、レプリカや写真で展示を行う。所有しているものについては、本物を展示する。

(羽賀委員) 地震の際に傷ついたものがあると聞いたがどうか。

(山屋科学博物館長) 今回修復を行っており、また地震対策も万全を施しているので本物を展示する。

(加藤教育長) 子どもが体験学習をできる施設と聞いている。また、マニアも期待している施設と思われる。私たちが予想をしない使い方をする人も考えられる。オープンにあたっては、事故のないよう最善の対応策をお願いしたい。

(山屋科学博物館長) 建物は8月31日に引渡し予定で、その後約2週間で開館となり、展示作業に追われる。また、建物自体が斜面に建てられており高さがあるところもある。管理については、充分注意をしていく。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第4 議案第40号 長岡市地域資料館条例施行規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第4 議案第40号 長岡市地域資料館条例施行規則の一部

改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 先般、地域資料館条例の一部改正についてご審議いただいたが、体育館の取り壊しに伴い、資料を移した上で閉鎖する中之島地域資料館について、条例施行規則中、中之島地域資料館に関する項を削除するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第5 議案第41号 長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について

(大橋委員長) 日程第5 議案第41号 長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 馬高縄文館の設置に伴い、学芸業務に嘱託員を任用したいため、長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱中、科学博物館の欄に馬高縄文館の学芸業務を追加するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第6 議案第42号 先決処理について(補正予算の要求について)

(大橋委員長) 日程第6 議案第42号 専決処理について(補正予算の要求について) を議題とする。事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 平成21年7月補正予算経済危機対策分について、処理に急

を要したため専決処理をしたので、これを報告し承認をお願いするものである。補正予算の内容は、歳入、歳出ともに 82,875 千円の要求である。まず、歳出から説明を行う。経済危機対策に関連し、各事業に対し臨時職員を雇用したいもので、全部で 74 名を雇用する予定である。賃金合計 70,239 千円、それに伴う共済費 11,959 千円、その他の経費、被服購入費等 677 千円で、歳出合計 82,875 千円である。これに対する歳入が、10 分の 10 県の補助金となる。緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金 82,458 千円、諸収入、雇用保険料被保険者負担分として 417 千円である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 雇用期間の確認をしたい。

(押見教育総務課長) 雇用期間は 6 か月である。ただし、更新 1 回、6 か月認められている。

(大橋委員長) いつから雇用になるのか。

(押見教育総務課長) 県へ補助申請書を提出し、決定されてからになる。

(内藤委員) 年齢制限はあるのか。

(押見教育総務課長) 資格を求めることはあるが、年齢、性別は問わない。

(加藤教育長) 教育委員会所管の緊急雇用が多いが、雇用 6 か月、更新 6 か月で最長 1 年間となり、その後は雇用が切れるということを学校現場にも市民にも理解を求めたい。いつまでも続くものではない。学校に配置する介助員等、雇用期間終了後、人員が減ったと感じられてしまうと困る。現場で混乱しないようにしなければならない。

(大橋委員長) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、教育委員会関係工事入札状況について、事務局から説明を求める。

(押見教育総務課長) 1 件目は千手小学校校舎等改築工事である。契約金額 450,479,400 円で、施行業者は渡長・池田・長岡土建千手小学校校舎等改築特定共同企業体。工事の概要は、現在の南校舎は昭和 35 年に建築されたもので、老朽化が進んでおり、今回取り壊し、新築を行うものである。既存の給食室及び屋上プールを撤去し、この場所に新たに南校舎を建築する。また、校舎、給食調理室、教室及び屋上プールを設置する。既存の東校舎については、教室改造、避難階段新築等の改修を行う。1 年目は南校舎の工事を行い、2 年目に南校舎改築後引越しを行い、現在の南校舎を解体する予定にしている。給食室を撤去したため、現在千手小は給食調理が実施されていないが、近くの表町小学校で調理したものを運んでいる。また、プール授業については、県営プールに貸切バスで移動し、授業を行っている。次に、日越小学校校舎増改築工事である。契約金額 547,575,000 円、施行業者は中越・長鐵・永井日越小学校校舎増改築特定共同企業体。工事概要は、現在の南側校舎を改築するため、グラウンドの一部に校舎を増築し、その後新しい校舎完成後引越しをし、現在の南側校舎を取り壊すものである。3 件目、和島小学校屋内運動場、プール新築工事である。契約金額は 467,218,500 円、施行業者は寺泊産業・中元・松井和島小学校屋内運動場等新築特定共同企業体である。新たに設置された和島小学校に屋内運動場、プールを設置するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 千手小学校のプールは屋上ということだが、3 階になるのか。

(押見教育総務課長) 1、2 階に教室があり、プールは 3 階部分になる。

(加藤教育長) 一部 4 階建てということか。

(押見教育総務課長) そうである。

(内藤委員) 和島小学校は、屋上プールではなく、屋外プールか。

(押見教育総務課長) そうである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、教育委員会関係工事入札状況子ども家庭課分について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 長岡市民防災公園全天候型公園施設建築工事について報告

する。これは公園施設であるため担当課は公園緑地課となり、防災公園内に全天候型施設を作るものである。2階建て子育て施設になるが、丸い部分が屋根付き広場の遊び場となり、2階からの大きなすべり台が特徴である。子育ての駅部分は資料1階平面図の赤で示してある部分である。2階は防災活動エリアで、防災関係NPO団体がここを拠点として活動する予定である。緑の部分は防災に関する情報学習を行うところで、オレンジは共通に使える研修室である。子育て支援エリアは363㎡であるが、これは「てくてく」の丸い部分に該当する大きさで、それほど大きくはない。建物全体の入札金額は400,890,000円で共栄・永井・今井市民防災公園施設建築特定共同企業が落札した。契約工期は平成21年6月から平成22年3月末ですすでに工事は始まっている。施設のオープンには周辺駐車場の整備と併せて行うこととしており、建物の引渡しをうけ4月、5月と準備をし、来年度6月オープンの予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 担当は公園緑地課になるのか。

(矢沢子ども家庭課長) 公園施設として設計、建築を行うため、公園緑地課が担当であるが、引渡しを受けるまでである。

(加藤教育長) 屋根付広場は東京ドームのように開閉するのか。

(矢沢子ども家庭課長) 屋根は固定だが、周りがすべて開くようになる。

(中村委員) 土足の施設か。

(矢沢子ども家庭課長) その予定である。「てくてく」は幼児が中心で、もう少し大きな子どもを対象とする。

(中村委員) すべり台も土足ですべるのか。

(矢沢子ども家庭課長) そうである。人気がでると思われる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に長岡市教育委員会表彰 表彰基準(内規)の一部改正について、事務局から説明を求める。

(押見教育総務課長) 長岡市教育委員会表彰の表彰基準、内規の一部改正である。今回の改正に伴い、長岡市教育委員会表彰規則第2条第5号に該当する附属機関委員として長岡市図書館協議会委員、長岡市栃尾美術館協議会委員、長岡市水族博物館協議会委員を追加するものである。適用は21年度表彰からとする。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 追加された委員は今まで規定がなかったのか。

(押見教育総務課長) そうである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に平成 21 年度版『子育てガイド』の発行について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 例年のものであるが、平成 21 年度版『子育てガイド』を作成した。ちびっこ広場の保育士が表紙を書いているので、とてもやわらかい雰囲気になったと思う。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) すごくいいもので、驚いている。市外から転入してきた方が、長岡市の概要が一目瞭然だと非常に評判が良い。とてもありがたい。色使いもやわらかく、市民が手に取りやすいものである。

(内藤委員) とてもいいものである。名簿も掲載されており、活用しやすいという声を聞く。またマップがとてもよい。所在地がどこにあるか、なかなか確認できないので、非常にわかりやすい。

(矢沢子ども家庭課長) ここまでまとまっているものはなかなかないと思う。少しずつ内容について改良している。今後もよいガイドを作成したい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に長岡市子育て応援プラン後期計画策定に関するニーズ調査の結果について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 次世代行動計画という少子化対策をメインにした計画作りで、全国一斉に後期計画にむけた計画策定が行われている。平成 17 年度から平成 21 年度が前期、平成 22 年度から平成 26 年度までが後期として、国をあげて取り組んでいる。それに向け昨年 11 月にニーズ調査を行った。0 歳から小学 6 年生までの保護者各年代 200 人を抽出し、合計 2,400 人を対象にアンケートを行った。前回の平成 15 年度は合併前のニーズ調査であったが、今回は合併後初めての調査となる。傾向としては、最初に仕事を持つ親が増加していることである。就学前児童の保護者が 65%、小学生の保護者が 82%となっている。正規職員だけでなく、パート・アルバイト・派遣社員等すべてあわせた数字となっている。10 月に経済不況が始まったばかりの頃なので、今現在の状況とは異なる可能性がある。2 番目に保育園・幼稚園への満足度が増加している。全ての質問項目において満足度が増加している。3 番目は

子育てに関する悩みの変化があげられる。それほど大きな変化はないが、上位5位には「子育てで出費がかさむこと」、「自分の自由な時間が持てないこと」、「子どもを叱りすぎているような気がする」、「病気や発育・発達に関すること」、「子どもとの時間を十分にとれないこと」があがっている。大きく変化が見られたものが、「子どもを叱りすぎていること」については、就学前、小学生の保護者ともに3ポイント上がっている。世の中が、叱っていることが虐待との見方をしている中で、自分の行動を冷静に見ているとが考えられる。4番目に市に対して望む子育て支援として、やはり「雨や冬でも遊べる子どもの遊び場」が1番であり、「費用経費の負担の軽減」などがある。小学生の保護者からは「安心して医療機関にかかれる体制整備」が上位であがっている。いろいろな調査を行い、担当課に結果を戻しながら、後期計画のプラン策定につなげていきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 膨大なアンケート調査の集約であるが、特別なチーム編成等を行ったのか。

(矢沢子ども家庭課長) 調査人数が2,400人で、また中学生、高校生各600人からもアンケートを行い、かなりのボリュームなので、質問内容や送付については職員が行い、データ分析は業者に委託をした。

(大橋委員長) 他にないようなので、長岡市私立幼稚園耐震診断費補助金要綱の制定について、事務局から説明を求める。

(若月保育課長) 文部科学省の学校施設の耐震化は、幼稚園も対象となっている。私立に対し国・県・市が補助金を出しあい、耐震化を進めるものである。国が全体の3分の1、県が6分の1、市が6分の1、残りの3分の1を幼稚園が負担し、事業を進めるもの。国の事業は平成23年3月までに耐震化を進めるもので、要綱も平成23年3月末までとする。今年度は長岡和光幼稚園と長峰幼稚園の2園が耐震化の予定をしており、補助金を支給するものである。公立幼稚園は2園あるが、耐震化は済んでいる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 幼稚園が自分から言い出さなければ受けられないのか。

(若月保育課長) そうである。耐震診断費として3分の1は自分で負担するもので

あり、その資金繰りができるところということになる。

（大橋委員長） 他にないようなので、次に第8回全国藩校サミット in 長岡実施結果について、事務局から説明を求める。

（小野田中央図書館長） 全国藩校サミットの実施結果を報告する。参加人数は1,600人、参加藩数は51藩で、過去最高となった。藩主、藩校関係者及び県外から280人、市外から220人、市内からも1,100人の方に参加してもらった。夜の交流会についても347人の方に参加してもらい、翌日の視察研修も主に市外の方182人が市内各地を回った。関連事業も行っていった。月2回練習を行った「論語素読の会」は、全14回子どもたちほとんど欠席もなく一生懸命練習していた。連続講座、藩校教育についても約180人と盛況であった。展示会も2つ行った。ひとつは「藩校崇徳館・正徳館の教育」で中央図書館の美術センターで行い、もうひとつは「長岡藩主牧野家と崇徳館」で、商工会議所文化美術ホールで行い、どちらも1,600人を超える方から来場いただいた。サミットが終わり、各方面から手紙を頂戴している。内容について感銘したというものや、地元の新聞に紹介し、その記事を同封したものなどがある。また、桜井よし子氏も長岡の教育について感銘を受けたとのことで、雑誌に紹介しており、藩校サミットの内容や、長岡市の教育について2次効果もあったと感じている。市内の方々1,100人参加してもらい、長岡の歴史について勉強してもらういい機会であった。当日の内容を2時間のDVDに収め、藩校関係者に送りたいと考えている。

（大橋委員長） 質疑、意見はないか。

（羽賀委員） 前回熊本では200人しか集まらなかったという話を聞いていた。これだけ盛大に行われたのは関係者の努力のおかげと感謝している。全国的に米百俵の精神が広まった。

（大橋委員長） 他にないようなので、次に栃尾美術館協議会報告について、事務局の説明を求める。

（小野田中央図書館長） 年2回開催している栃尾美術館協議会の今年度1回目を7月1日に開催した。出席者は8名の委員全員と教育長及び栃尾美術館職員6名の計15名である。議題は、平成20年度事業報告について、平成21年度事業計画及び運営方針について報告説明し、意見をいただいた。また今後の美術館運営方針のあり方について自由に意見をいただいた。その中で、場所が中心市街地から離れていること、

展覧会を行う予算がないこともあり、県立美術館とのすみわけが必要との意見があった。ギャラリーとして貸し出すなど、市民の方の美術活動の応援ができる場所として運営をしたらどうかとの意見がでた。意見を参考にし、平成 22 年度の事業計画に反映していきたい。最後に、夏休みに向け、子ども造形講座を行う。お金をかけずに、美術館に足を運んでもらい、美術活動を行うものとして考えている。講座は 9 つあるが、出来上がった作品を美術館に飾り、親子で楽しもうと工夫をしているものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に科学博物館夏休み特別展・企画展のご案内について、事務局から説明を求める。

(山屋科学博物館長) 科学博物館で行う夏休み企画展として「夏休みクワガタ&カブトムシワールド」を開催する。期間は 7 月 4 日から 9 月 13 日まで。次に「発掘された長岡城」は 7 月 4 日から 29 日までで、今厚生会館跡地の発掘調査の中間報告を行い、また高田城等で発掘されたもの等も借りて、特に焼き物、陶器に的を絞って展示を行う。8 月 1 日から 9 月 23 日まで特別展として「古代ロードと古志の里 青年オオムシが見た古代の越後」を開催し、8 月 9 日に記念講演会も行う。郷土史料館では、「近世・近代の長岡人こころの交流展」と銘打って、寄贈いただいた山本五十六と法務大臣小原直の書簡等、江戸末期から大正時代にかけての手紙を展示する。心の動きがよく分かるものだと思う。寺泊水族博物館では、中越地震の際、妙見町でみつかった海牛、ミョウシーの化石を公開する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に第 39 回教育講演会について、事務局の説明を求める。

(山岸教育センター所長) 毎年実施している教育講演会を、今年は金田一 秀穂先生に講演していただく。800 人を超える参加を予想している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。他に協議報告事項はないか。

(大橋委員長) これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に大積小学校、白山保育園、旧長谷川家を訪問した。訪問について、委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 大積小学校については、校舎がきれいで、とてもよく掃除がされており、環境がよいと感じた。授業も子どもたちが落ち着いていて、先生も子どももゆとりがある感じであった。特色のある花壇作りは、1年生から6年生、保育園児も参加し、地域の方が熱心に取り組んでいる結果がコンクールで最優秀賞とったとのこと。ただ、中学校が青葉台中学校に進み、少ない小学校から大規模中学校となり、登校拒否もあるとの事だったが、各小学校の校長が連携をとっているようなので、いい方向につながっていくことを願う。白山保育園では昨年が大変だったとのこと。今の悩みとして年少児担任と保護者とのコミュニケーションについてという話を聞いた。担任の先生だけでなく、園長先生も自信、熱意をもって指導しており、結果としていい方向に向かっていると感じた。昨年の大変さがまったくわからないくらいで、全員で全員を見るということで、変わってきているのだと感じた。長谷川家は、20年ぶりに訪ねた。改めてすばらしい旧家と感じた。

(内藤委員) 大積小学校は先生方の協力体制がよかった。掲示物もしっかりしていて、色彩が明るかった。字がきれいな子どもたちが多く感じた。白山保育園も先生方の連携がよくとれている。先生方は子どもに、子どもたちも先生にしっかり注意をむけており、1年前に苦労したことが今生きていると感じた。長谷川家は何回か訪ねているが、学芸員に説明をしてもらい新しい感覚で見ることができた。

(羽賀委員) 大積小学校は、家庭・地域・学校の連携がうまくいった地域である。うまくいった結果が、先生方の多忙感を充実感へ変えるという前向きな姿勢になり、子どもが安定しているいい例だと思う。白山保育園ではルールでこぼれた子どもを、担任だけでは対応できないが園長が拾いあげ、信頼関係を築いていた。先生方も連携をしていた。長谷川家については、今後ソフト部分に期待したい。

(大橋委員長) 大積小学校は地域と学校がうまくいっていることを、身近にいて感じていた。さりげなくそばにプロがいて、地域が学校を盛り上げており、実績がある。白山保育園では、話を聞いていて、教育委員会が幼児から生徒、生涯学習まで統一し

ていることよさを改めて学んだ。とても職員関係がよかった。職員関係のよさが子どもたちの明るさにつながっていると感じた。長谷川家は私のふるさとであるが、幼い頃は中に入りたくても入れない場所であった。今日、学芸員の話聞いて、すばらしい財産をもっといろいろな人に知ってほしいと思った。

(加藤教育長) 大積はコミュニティセンター長がしっかりしている。中心になる人が大切である。教頭が「教員は子どもと向き合う時間がない」と言っていたが、どうかと思う。ある程度人数がいるところでは考えられるが、きめ細かすぎる対応は過保護である。中村委員が言われたように、青葉台中学校に行くとな登校ができるのは、今子どもたちは少人数であるため、自分が休んではいけないと常に緊張をしているのではないかと思う。休むことがいいとは言わないが、少しゆとりがあるくらいがよいのではないか。小学校は学校行事が多く、子どもも忙しいと思う。低学年を飽きさせないために行事を行うことがあるとは思いますが、度が過ぎると多忙感につながる。ゆったりと本来の授業だけの日を作ってあげたほうがよいのではないか。

(大橋委員長) 他に意見、質問はないか。

(武樋学務課長) 大積小学校訪問の際、加藤教育長からタクシーの経費についての質問があったため、報告する。今年度予算で1,555千円である。大積田代町と千本の子ども10人が対象で登校時はジャンボタクシーを1台使っている。下校時は低学年・高学年2台に分けて運行している。

(大橋委員長) 他に意見、質問はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員